

2020/06/30 11:00-(Web開催)
FPCJプレス・ブリーフィング:

コロナ後の日本社会と家族 変化にどのように対応するか

中央大学 教授 山田昌弘

0. 自己紹介

山田昌弘 1957年生まれ、62歳

家族社会学・研究者、東京大学大学院修了卒、
東京学芸大学教授を経て、2008年より中央大学教授
パラサイトシングル、格差社会、婚活 の名付け親

研究領域 家族(結婚、恋愛) ジェンダー、若者を
「お金」と「愛情」の領域から研究している

近著に『日本は少子化対策になぜ失敗したのか』
(光文社新書)『結婚不要社会』(朝日新書)

1.はじめに コロナ後の家族？

■ 日本家族のトレンド

＊ 戦後一昭和（1989） 家族安定の時代

ほとんどの人が結婚して、離婚せず、子どもをもった
ほとんどの男性の収入は安定して増大していた
戦後型家族（夫は主に仕事、妻は主に家事）が作れた

＊ 平成（1989－2019）家族は**作りにくく、壊れやすくなる**
今の若者の25%が一生未婚、三組に一組が離婚
「結婚も恋愛もしない若者」の増大

コロナ災禍は、このトレンドを変えるのだろうか

1.はじめに コロナ後の家族？

■ コロナと「親密性」

「親密性」のあり方はコロナ拡大と関係があるのか？

1. 日本の親密行動の他国との違い

* **欧米**（特にラテン系）

— 親密性を「身体接触」によって表現し受容する文化

（性関係頻度高く、家族、友人、親族と日常的にハグ、キス）

* **日本**（東アジア）

親密性を身体接触によって表現することは家族でもまれ

— 家族外で「親密性」を購入（キャバクラ、ホストクラブ、性風俗）

+ アイドルやアニメキャラなどバーチャル恋愛で充足

+ 多数のひきこもりの存在、孤立する中高年独身者が多い

感染の広がりの経路、速度に何かしらの影響を与えているだろう。

1.はじめに コロナ後の家族？

■ コロナと「親密性」—「親密行動」への影響は？

2. 「新しい生活様式」「徹底した行動変容」という専門
家会議の提言（5/1）

* 仕事、趣味、レジャー活動に関しては、提言がある。

* 恋愛、結婚、家族、夫婦生活はまったく考慮されていない
（コロナで夫婦の性関係は控えるべきかという問いを探したが、
ネットでは検索できなかった5/7現在）

（性的関係 **3密**の極み 数ヶ月控える人が増える？
10ヶ月後の出産数はどうなるかに興味）

1.はじめに コロナ後の家族？

■ コロナと「親密性」 — 「親密行動」への影響は？

2. 「新しい生活様式」「徹底した行動変容」

* 出会いへの影響

出会う機会の減少（自然な出会い、偶然の出会い）

婚活パーティ、お見合いの自粛（知らない人と会うリスク）

ネット婚活パーティの開催、それ以降進むか？

* 男女交際（関係を深め、性関係、結婚へのプロセス）への影響

オンラインデートで満足できるか？一緒に食事もできない？

結婚が決まっても、親族との引き合わせ延期？、結婚式延期？、同居自体延期？

1.はじめに コロナ後の家族？

■ コロナ災害の長期的影響は

＊ 災害終息後はどうなるのか

長期的トレンド(家族は作りにくく、壊れやすくなっている)
は 反転するのか？、加速されるのか？

(東日本大震災 反転も加速もなかった — 意識や行動
ほとんど変化がなかった)

では、その前提となる平成以降の、日本の家族のトレンドを見ていこう。

2. 日本の未婚化の実態

日本の結婚、恋愛の現在

①結婚する人、している人の減少

未婚者率 30代前半—男性47.1%, 女性34.6%

(2015年) 30代後半—男性35.0%, 女性23.9%

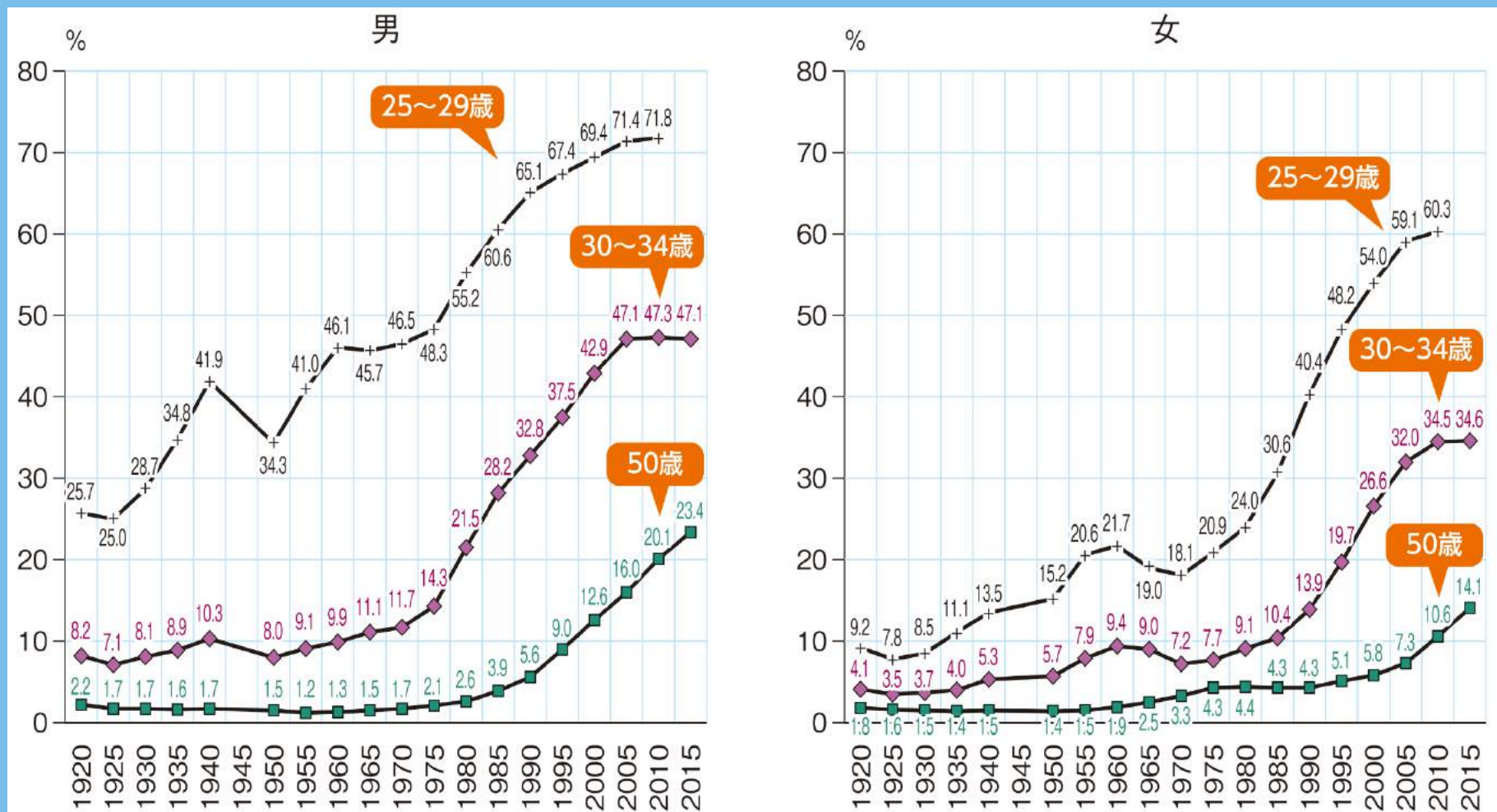
②独身者で交際している人がいる人の減少

恋人あり率 18—35歳 男性21%,女性30%(2015年)

2. 日本の未婚化の実態

Figure 1

Transition of unmarried rate by age



(Source: Census)

2. 日本の未婚化の実態

恋愛の衰退1 交際相手がいる未婚者率の低下

- ❖ 表 独身者で交際相手をもつ率の変化 18歳-34歳
- ❖ (国立社会保障・人口問題研究所 出生力調査より 数字%)

男性

1992 1997 2002 2005 2010 2015

- ❖ 恋人あり(含む婚約者) 26.3 26.2 25.1 27.2 24.6 21.3
- ❖ 交際中異性の友人有り 19.2 15.3 11.3 14.0 9.4 5.9

女性

- ❖ 恋人あり(含む婚約者) 35.5 35.4 37.0 36.7 34.0 30.2
- ❖ 交際中の異性の友人有り 19.5 15.9 12.4 12.9 11.9 7.7

恋愛の衰退2 性体験が**ない**未婚者割合の増加

	1992	1997	2002	2005	2010	2015
男性						
18-19(歳)	70.9	64.9	64.2	60.7	68.5	72.8
20-24	42.5	35.8	34.2	33.6	40.5	47.0
女性						
18-19	77.3	68.3	62.9	62.5	68.1	74.5
20-24	53.0	42.6	38.3	36.3	40.1	46.5

出生動向基本調査(国立社会保障人口問題研究所) より

恋愛の衰退2 性体験が**ある**学生の減少

性体験がある学生(高校生、大学生の割合)(%)

	1987	1993	1999	2005	2011	2017
Male						
高校生	11.5	14.4	26.5	26.6	14.6	13.6
大学生	46.5	57.3	62.5	63.0	53.7	47.0
Female						
高校生	8.7	15.7	23.7	30.3	22.5	19.3
大学生	26.1	43.4	50.5	62.2	46.0	36.7

- 日本性教育協会の調査より(Source: The Japanese Association for Sex Education
-)

2. 日本の未婚化の実態

- * 日本と欧米の結婚減少の違い

- ❖ ヨーロッパ・アメリカの結婚の減少

ライフスタイル革命(1960年代)

結婚せずに性関係を楽しむ

同棲や婚外子の増大 ーカップル形成力は強い

- ❖ 日本の結婚減少

伝統的家族へのこだわりが未だ強い

同棲率1.8%(2015年) 婚外子率2.2%(2012年)

2. 日本の少子化の実態

Figure8. 婚外子（母親が未婚で生まれた子どもの割合）

	1970	1990	2012
Sweden	18.6	47.0	54.5
France	6.8	30.1	56.7
Britain	8.0	27.9	47.6
US	10.0	28.0	40.7
Germany	7.2	15.3	34.5
Spain	1.4	9.6	39.0
Italy	2.2	6.5	25.7
Japan	0.9	1.1	2.2

3. 現代日本の未婚化の背景

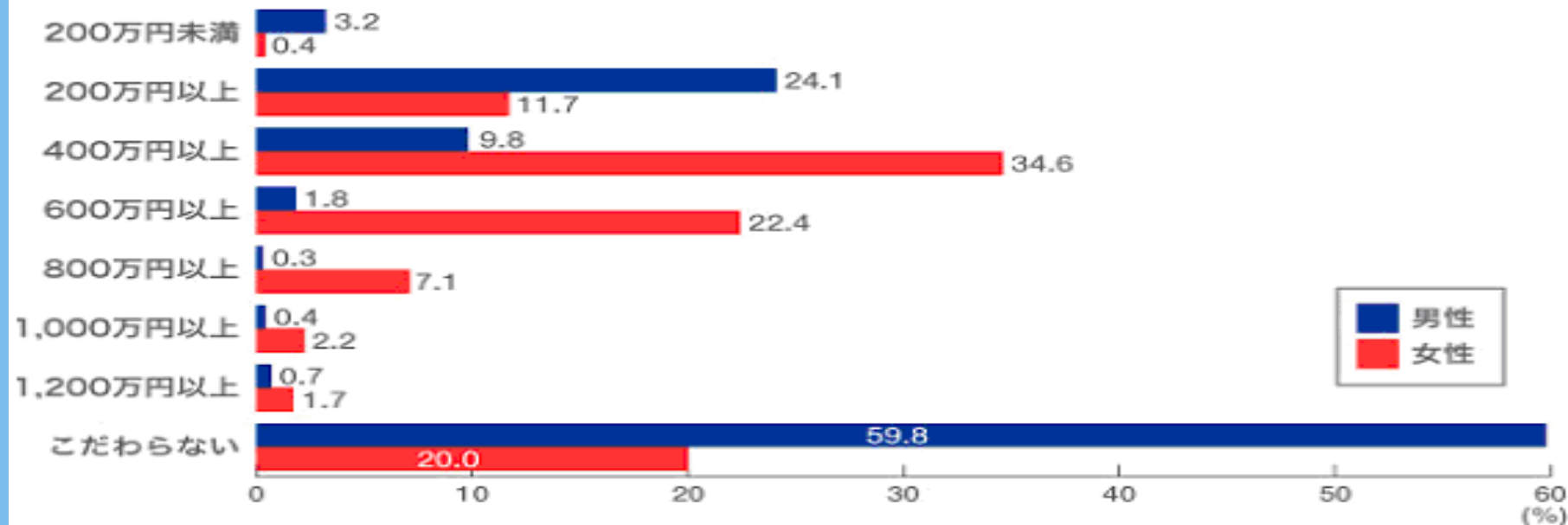
《近年の未婚化の経済的理由》

- A 若者(特に男性)の経済力低下
若年男性 経済格差が拡大
- B 男性が経済的に扶養するものという意識
(専業)主婦志向が強い
- C 親と同居していつまでも待てる
パラサイト・シングル

3. 現代日本の未婚化の背景

結婚相手に望む年収と現実の未婚男性の年収の比較

結婚相手に望む年収



現実の未婚男性の年収



出所：明治安田生活福祉研究所・「生活福祉研究」号。データは2009年の「結婚に関する調査」（全国ネット20～39歳、4120名の未婚者が回答）

(明治安田生活福祉研究所 2010年調査 グラフで2009年というのは年度)

3. 現代日本の未婚化の背景

■未婚化の進展、離婚の増大

（人口減少、未婚社会、無縁社会）

- ＊「一人の収入では妻子の豊かな生活を支える見通しが立たない」男性が増える

しかし

- ＊「戦後型家族 — 夫が主に生活を支えて豊かな生活を送る」という理想を捨てられない
- ＊ 親と同居—理想的な相手の出現を待てる

3. 現代日本の未婚化の背景

日本と欧米諸国の違い

- ❖ 欧米 愛情(「親密性」「恋愛感情」)を最優先
男女とも経済的に自立
様々なライフスタイル(同棲など)を試す

- * 日本(東アジア) 経済生活を最優先
結婚は経済的に安定する手段(女性)
結婚で経済的に中流生活が維持できなければ、親
元で独身ー パラサイトシングル(親同居未婚).
日本の夫婦 セックスレス率が高くて離婚しない

3. 現代日本の未婚化の背景

日本社会

「恋愛感情」よりも「経済的生活」を優先して結婚相手を探す、結婚生活を維持する

恋愛感情（親密欲求、ロマンティック感情、性欲）は、別の所（ヴァーチャル、市場での購入）で満たす。

→ 親密性のヴァーチャル化、市場化

4. 日本での親密性の市場化、ヴァーチャル化

- * 親密であることを実感できる恋人や妻のようなサービスを購入する(市場化)
キャバクラ、ホストクラブ 性風俗産業
- * 萌えを提供する、感情的に好きと思える対象を見つける(ヴァーチャル化)
アイドルファン、アニメファン、

4. 日本での親密性の市場化、ヴァーチャル化

❖ 表 内閣府2010年調査実施 バーチャル関係を持つ人の割合
20-39歳 ネットモニター10000サンプル

A メディアの中のキャラクターや登場人物に恋をすることはありますか？

	既婚	独身恋人有	独身恋人経験有	独身恋人経験無
男性	5. 3	7. 5	8. 0	14. 6
女性	13. 5	18. 0	18. 1	30. 2

B 身近にいないタレントやアイドルに恋をすることはありますか？

男性	7. 3	9. 7	10. 3	11. 3
女性	15. 6	18. 3	20. 2	25. 3

4. 日本での親密性の市場化、ヴァーチャル化

➤ バーチャル関係調査(2019年1月、首都圏20-39歳)

(よくある、どちらかといえばある、の合算 %)

	男性	女性
1. ペットの親密な関係を抱く	48. 0	50. 7
2. キャバクラやメイドカフェに行く	10. 1	2. 3
3. アイドルやスターに恋愛感情	14. 3	18. 0
4. アニメのキャラクターに恋愛感情	12. 2	11. 6
5. 性的サービス業に通う	16. 3	1. 4
6. ポルノをみる	83. 0	14. 3

5. コロナ後の家族？

まとめ、

平成時代の家族のトレンド

1. 戦後型家族（夫が主に家計を支え、豊かな生活を築く）が、徐々に作りにくく、壊れやすくなっている
2. 戦後型家族にこだわるため、若者は保守化し、恋愛が衰退している。
3. 戦後型家族が作れない若者は、市場からの調達、バーチャル関係で親密性を満足させる傾向が強まっている
4. 新しい家族の多様化の芽は出ているが、大きな流れにはなっていない

5. コロナ後の家族？

コロナ災害、その後の社会は、このトレンドを反転させるのか？、それとも加速させるのか、

1. 戦後型家族（夫が主に家計を支え、豊かな生活を築く）は、ますます作りにくくなるだろう。

コロナ災害 男女とも、自営業者や不安定就労者の生活困難が明らかに

（やっぱり結婚するなら公務員か大企業勤務男性、という不安定就労の女性の志向性が強まると、結婚はますます少なくなる？）

5. コロナ後の家族？

コロナ災害、その後の社会は、このトレンドを反転させるのか？、それとも加速させるのか、

2. リアルな恋愛は、

「リアルな出会いや交際の感染リスクがあるから更に衰退する」？

「リアルな親密欲求が強まり、コロナ終息後は、リアルな出会いを求める人が増える」？

（ある一人暮らしで外出自粛する女子学生、「今なら父親ともハグできる」）

5. コロナ後の家族？

コロナ災害、その後の社会は、このトレンドを反転させるのか？、それとも加速させるのか、

3. 親密性の市場化、バーチャル関係は？

- ① 市場から買う親密関係（キャバクラ、風俗など）
 - 感染リスクから衰退？
 - コロナ後に逆に拡大？（某・タレントの発言）
 - オンライン化する？（ネット・キャバクラ？）
- ② バーチャルな対象に恋愛する人
 - 巣ごもり消費として増大する？
 - イベントはしにくくなる
- ③ ペット 安全な対象

5. コロナ後の家族

■このトレンドが続くと、階級社会化？無縁社会化？

今後、典型的家族（戦後型家族）を形成、維持できなかった中高年の増大というトレンド

＊ コロナ災害は、家族の格差拡大を推し進める

❖ 日本社会の前提 家族主義

家族が存在することが前提

家族の中で生活できる収入を稼げる人がいることが前提

❖ 家族がいない中高年 孤立化

（孤独死 現在 年3万人 ほぼ、未婚者数一年分に相当）

50年後、年50万人規模で孤立した高齢者が亡くなる

5. コロナ後の家族

■コロナ災害が浮き彫りにしたもの

格差社会が目に見える形で明らかになった

日本社会 — 先進国の中で、貧困率が高いのにも関わらず、それがなかなか目に見えにくい社会

コロナ災害

非正規雇用者やフリーランス（自営業者）の生活リ
スクを現実のものにした。

（特に、接客に従事している女性）

5. コロナ後の家族？

＊現在の施策は、家族形成や多様化を進展させるか？

❖ 家族を形成しやすく、壊れにくくする

❖ 家族がいなくても生活可能にする

.

＊ 10万円支給 一種のベシック・インカム

＊ 休業補償 非正規雇用者やフリーランス支援

＊では、コロナ終息後もこのような施策をし続けるか
それとも、元に戻るか？

注視しなければならない